

での子どもへの新型コロナウイルスワクチン個別接種▽企業が一定規模の賃貸オフィスビルなどに入居する際の補助▽コロナの影響により利用者が減少したコミュニケーションバス運行事業に対する支援—などの費用が計上され、賛成多数により原案可決されました。

さらに、第1回定例会最終日に提案された補正予算（第15号）は、すでに実施している子育て世帯への臨時特別給付金の追加支援に関する内容で、全員賛成により原案可決されました。同じく、最終日に提案された令和4年度補正予算（第1号）では▽住民税非課税世帯などに対する臨時特別給付金▽食の創造館増築棟に使用する建築資材単価や労務単価の上昇に対応する増額—の内容で、全員賛成により原案可決されました。

決議案を全員賛成で可決

定例会最終日の3月28日、決議案第1号「ロシアによるウクライナ侵略及び核兵器の威嚇等に対し断固抗議する決議」が議員提案され、全員賛成で原案可決されました。

この決議は▽ロシアのウクライナへの軍事侵攻は国連憲章に対する重大な違反であり、断じて容認できない▽核兵器使用を示唆したことや原子力発電所への攻撃は、海老名市平和都市宣言のもと世界の恒久平和の実現を願う本市市民の心をも踏みにじるものである▽ロシアが無法な軍事行動をやめ即時無条件で完全撤退するよう、我が国を含め関係国政府は一日も早い平和的解決に向けた外交努力を行うよう強く求める—といった内容です。

意見書も全員賛成で可決

3月28日には「藤沢簡易裁判所及び厚木簡易裁判所への家庭裁判所出張所の併設と管轄区域の見直しを求める意見書」も議員提案され、全員賛成で原案可決されました。

この意見書は本市市民などが家庭裁判所を利用する場合に、横浜家庭裁判所本庁まで出向かなくても身近な裁判所で問題を解決できるよう、家庭裁判所の出張所を簡易裁判所に併設して管轄区域を見直すことを求めるものです。

予算に対する討論の概要

令和4年度予算（一般会計、3特別会計および公共下水道事業会計）に対し、6名の議員が各会派を代表して討論を行いました。その概要は次のとおりです。

（金額の単位は千円）

会計名	令和4年度当初予算額	令和3年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計	46,180,000	45,225,000	955,000	2.1%
特別会計	23,246,861	22,191,279	1,055,582	4.8%
国民健康保険事業	12,212,821	11,745,370	467,451	4.0%
介護保険事業	8,931,062	8,478,097	452,965	5.3%
後期高齢者医療事業	2,102,978	1,967,812	135,166	6.9%
企業会計				
公共下水道事業	4,613,516	4,658,095	△44,579	△1.0%
合計	74,040,377	72,074,374	1,966,003	2.7%

改進黨

賛成

○全ての会計予算に賛成

▽令和4年度予算案は、「コロナ禍に光を見出す 将来の健全財政を維持」をテーマに編成され、予算規模は、令和3年度より2・7%増の約740億4100万円と、過去最大となりました。未来へつながる持続可能な行政運営を行うために、さまざまな施策を推進し、かつ市民の安全な暮らしを守る取り組みが含まれていることから、コロナ禍でも大変堅実な予算と評価します。▽新型コロナウイルス感染症の発生が続いており、サービス業、飲食業、観光業などは大きな痛手となっています。このような社会情勢ですが、市税収入は令和3年度より9・2%の増加を予測しており、海老名市での新型コロナウイルス感染症の影響は限定的です。▽市債や借入返済に充てる公債費が昨年度よりも減額されるなど、大きな負担軽減となっています。また、財政調整基金をはじめ、基金の合計は約71億円も積み上がり、いざという時に備え、全体の市政運営を容易にしていると評価します。▽ロシアがウクライナへ侵攻したことによる、ロシアへの経済封鎖や制裁などにより、原油価格の高騰や物価上昇を招き、世界をはじめ日本経済もインフレ懸念など、その影響を避けられない状況が予測されます。このことは今後も最大限注視し、必要に応じて緊急対応すべき時は対応されるよう申し添えます。▽3特別会計は合計で約232億4700万円、対前年度伸率が4・8%増と大幅な増加となっています。このように医療、介護、高齢者福祉は高齢者の増加により、これからも増えていくことが考えられます。病気の早期発見に努め、医療費の節減や未病への取り組みを推進し、健康寿命を延ばせることが必要と考えます。

